

思いやりの行動

校長講話 R 1.12.9

皆さんは、こんな表示を見たことがありますか。



先日、友人と電車に乗っていた時です。その友人が突然席を立って、前にいた女性に「どうぞ」と言って席を譲ったのです。少し小

柄でしたが、健康そうな人でした。自分は、友人がどうして席を譲ったのかわかりませんでした。後で友人に訊ねると、「マークつけていたじゃん」と言われました。

このマークを知っていますか？
「マタニティマーク」といいます。
「おなかに赤ちゃんがいますよ」
いうことを示すものです。友人は
すぐにこれに気づき、席を譲った
のです。周りをよく見ているなと
いうことと、その行動の素早さに「すごいな」と思いました。



お年寄りやけがをしている人、子どもを連れている人などは比較的

わかりやすいですが、そうでない場合は、このようなマークがあるとわかりやすいですね。ほかにも、こんなマークがあります。

これは、「ヘルプマーク」といいます。義足や人工関節を使用している方、体の中の病気の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周りの人に配慮を必要としていることを知らせるマークです。



私たちの周りには、けがや病気などで困っている人がいます。中には自分では「助けてほしい」と言えない人もいます。そんな人に気づいたときには、電車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をしましょう。できることでよいのです。少しの思いやりの気持ちで助かる人がいるということを覚えておいてください。